



# とちよう保育園便り

2025年1月

2025年、新しい年になりました。寒さの厳しい年末年始でしたが、ご家族の皆さまはお元気に過ごされましたでしょうか。

気持ちを新たに、今年も子どもたちとの日々を大切に丁寧に過ごしていきたいと思います。とちよう保育園のみんなのパワーを思いっきりの笑顔で力強く受けとめ、保護者の皆さまとその成長を喜びあうことを新年の抱負とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

とちよう保育園

## 1月の予定

身体測定 避難訓練 〇歳児健診

来月は、クラスの保護者会があります。お忙しい中とは思いますが、皆さまのご参加をお待ちしております。よろしくお願ひいたします。

## お願い

登降園時用にお菓子や、飲み物などをご用意されるご家庭もあるかと思います。

- 食べたり飲んだりしなくても飲食物の持ち歩きはしない
- 飲食物をロッカーの中やベビーカーに置いておかない

(お手数ですが、お仕事先にお持ちください)

※落とした物や、子どもたちがロッカーやベビーカーに手を伸ばした際、万が一食物アレルギーを持つお子さんの誤食になると大変危険ですので、ご協力ををお願いいたします。



## お知らせ

1月から、ひよこ組の担任になります。  
「より近くでひよこ組のお子さんたちの成長を見られること  
嬉しく思います。どうぞよろしくお願ひします。」



## 子どものイヤイヤにどう向き合う？

体と共に心もすくすくと育っている子どもたち。その表現方法も様々です。自我の芽生えから自己主張が強くなり、大人の意図や思い通りにいかないことも増えてきましたね。成長の段階としては喜ばしいことですが、大人にとっては困ってしまう場面も増えてきた…なんて話も聞こえます。

そこで、ある保育研修での講師の方の言葉を紹介します。

- 勝負をしたら負けます。勝負をしてはいけません。そうだね。参りました。「はい、その通り」と受けとめる。
- 「嫌だ」というのは1、2歳児の特権。それがないと自分の気持ちが保てない、どこかで爆発する。「嫌だ」という姿を年齢相応と受け入れる。
- 泣いて嫌がっている子を無理に説得しようとすると、自分の気持ちがわかってもらえないと思って更に気持ちがこじれる。「嫌なんだね、こうしたかったんだね。」とまずは受け入れる。「嫌だ」という気持ちには、とにかく受容から始める。わかってもらえたと感じたら、気持ちが立てなおせることが多い。

どれもうなずくことばかりでした。保育園でもその後の姿の見通しを持ちながら、この時期の子どもたちと丁寧に向き合っていきたいと思っています。

## 〒お届けします〒

皆さまのお家に、保育園からの年賀状は届きましたか？

「とちよう保育園の子どもたちはお休み中も元気に過ごしているかな？楽しい一年になりますように。」と職員が思いを込めて準備しました。完成した年賀状は毎年2歳児クラスのうさぎ組さんが庁舎内の郵便局に行って出してくれています。今年もうさぎ組郵便屋さんに、年賀状の投函をお願いしました。ちょっとドキドキしながら出してくれた年賀状。喜んでいただけたら嬉しいです。